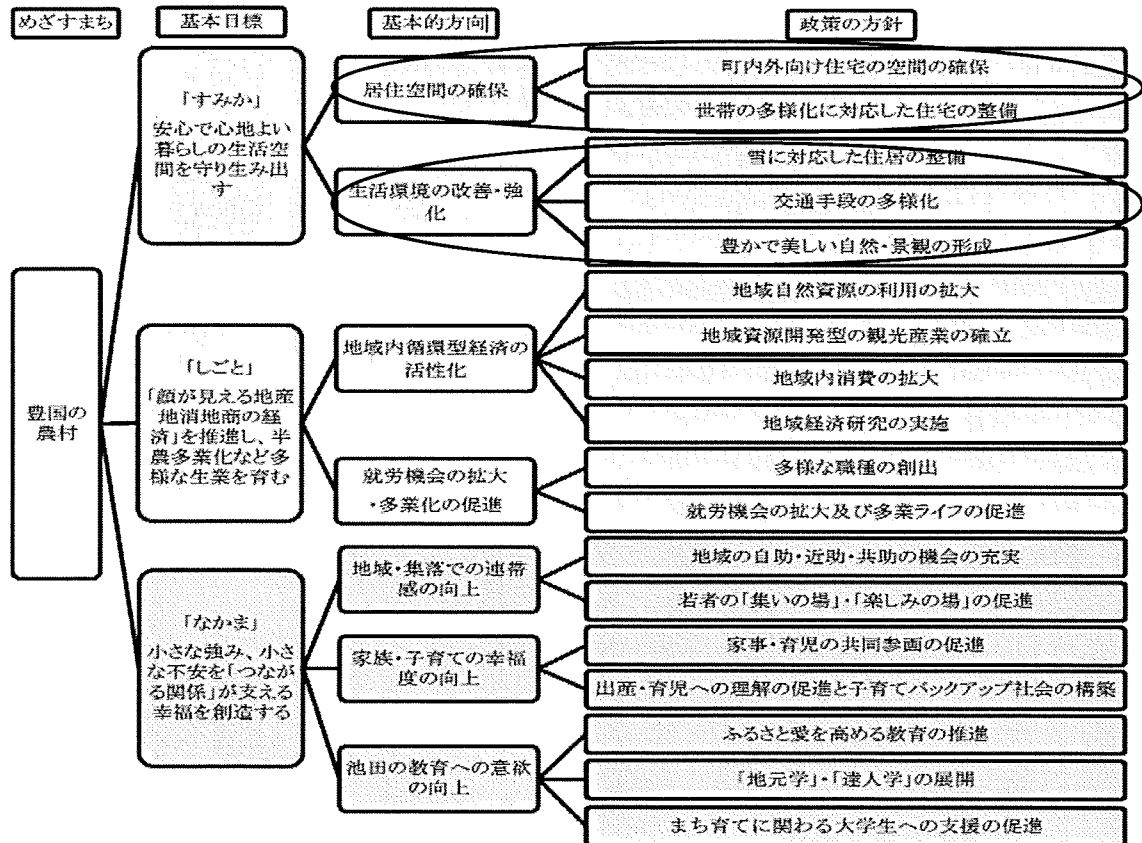


第3回池田町・地方創生戦略町民会議 「すみか」事業について

令和2年7月21日(火)
午後2時～5時
池田町開発センター 大ホール

地方創生戦略体系図



すみかに関する基本目標

町民の町外流出が止まらない要因の一つに、住宅の選択肢の少なさや生活環境が厳しいといった生活空間に関する課題がある。

住宅については、多世代同居の時代を引き継いだ家が一般的で、多世代向けだけではなく核家族や単身世帯も暮らせる住宅（快適で克雪の池田型風土住宅）などの居住空間の確保が必要である。

生活環境については、特別豪雪地帯に指定されている池田町で暮らし続ける上での生活条件の向上のため、雪による不便さの緩和に努める。また、冠山トンネルなどのトンネルが開通すると広域圏での移動の利便性が向上するが、生活圏である丹南地域・福井方面へのアクセス性と安全性向上のため、新板垣トンネルの開通をはじめとする交通手段の多様化と質的向上を図る。また、町民の誇りの源泉でもあり、暮らしの「豊かさ」の土台である美しい自然・景観の形成に努める。

居住空間の確保

池田町では多世代世帯向けのみでなく核家族向けや単身者向けの住居も整備、空き家の利活用も含めて、居住空間の確保に努める。

【政策実施指標の達成状況】

重要業績評価指標	目標値	H27年度→H30年度	説明
入居希望者の住宅確保率	100%にする	⇒67%(18/27)	<ul style="list-style-type: none"> ・世帯向け町営住宅は空き室なしで、入居ができずに転入を諦めた事例もある。 ・空き家はあるが、人気度に差がある(きれいで安価な町営住宅?) ・単身者向け町営住宅は、回転が速いが、ほぼ空き室なしであるものの、結婚後の居住空間としては「マイ・コーポ」だけ。
転入者数	年78人に拡大	52人⇒63人	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代の転入が増えている傾向。
転出率 (転出者数/人口)	▲15%まで改善	3.72%(103/2,768) ↓ 2.92%(75/2,568) ※55%改善	<ul style="list-style-type: none"> ・転入者数が目標を達成できない理由としては、住宅の提供(町営住宅など)が不足していると考えられる。 ・転出率を達成することはできたが、令和元年は、子育て世帯の転出も起きている。

「居住空間の確保」の支援措置

- 町営住宅(戸建て住宅、集合住宅)
- 住宅多世代化支援事業(3割500万円上限)(45歳以下で2世代以上の家族で同居)
- 住み家新築・増築支援事業(3割新築350万円増築200万円上限)(45歳以下で家族と同居か、中学生以下の子どもを養育)
- 古民家等再生改修補助事業(3割200万円上限)
- 子育て世帯向けの住宅改善支援事業(3割100万円上限)(中学生以下の子ども部屋等)
- 克雪住宅支援事業(3割100万円上限)
- 住宅機能改善支援事業(3割100万円上限)(70歳以上の高齢者や障害者、介護の必要な方)
- 木造住宅の耐震診断・木造住宅の耐震改修補助

「居住空間の確保」についての論点

○住宅整備支援制度の統合整理について

○支援対象者・支援額のあり方について

○移住定住のための空き家活用方策について

生活環境の改善・強化

池田町では雪の多さや町外との交通手段の選択肢の少なさから生じる暮らしにくさの緩和に努める。また、豊かで美しい自然・景観の形成に努める。

【政策実施指標の達成状況】

重要業績評価指標	目標値	H27年度→H30年度	説明
雪対応型の池田型風土住宅の開発・普及	開発・普及	融雪設備の研究	・近年の小雪傾向によって、研究が進んでいない。 ・雪対応型の池田型風土住宅の開発・普及がこの項目の評価の指標として適切か？
アンケートなどでの外出面での不満	10%以下	「充実して欲しい交通手段」は、コミュニティバス40%、有償ボランティア24%、路線バス22%(H29)	・「マイバス」事業を開始し、住民と行政の協働により、京福バス廃線に対応できた。
池田町の景観不適合看板の設置	0件	福井県屋外広告物条例不適合 4件⇒1件	・不適合物件を適切に誘導しているが景観全体の向上にはいま一歩である。 ・池田町の景観不適合看板の設置がこの項目の評価の指標として適切か？(美しい景観をどう考えるかとの視点が必要)

「生活環境の改善・強化」の支援措置

- 道路の除雪
- (屋根雪下ろし(角間、水海、個人))
- 克雪住宅支援事業(3割100万円上限)
- 町民バスなかま号(町内循環コミュニティバス、平日上下各4便)
- 子ども園通園バス・小中学校スクールバス
- 町民協働バス「マイバス」(福井駅⇄池田町の町民協働路線バス、平日4便土日祝予約便のみ3便)
- (福鉄バス(武生駅⇄魚見の路線バス、平日5便土日祝3便))
- 通学・通勤用定期券助成事業(町外通学の定期券代を20歳まで9割、20歳から3割助成、町外通勤の定期券代を3割助成)
- 高齢者交通安全支援制度(免許証自主返納支援、安全運転支援装置補助)
- ふくタク(75歳以上の方や障がい者など「ふくタクカード」提示で町内の一般/介護タクシー利用毎に運賃半額(上限5千円))
- (町内移動販売(こってコテいけだ、生協、大美商店、他))

「生活環境の改善・強化」についての論点

< 克雪 >

○雪に対応した住宅整備について

○区内道の除雪のあり方について

< 公共交通 >

○増加する高齢者の交通について

○車世代の公共交通利用の可能性について

○バス路線の考え方について

グループワークでの協議事項

○「居住空間の確保」の住宅整備支援制度について

・行政が担うべきこと

・住民・集落が担うべきこと

○「生活環境の改善・強化」(雪や交通)について

・行政が担うべきこと

・住民・集落が担うべきこと